

## ソニー教育財団 2016年度「教育・保育実践論文」募集

小学校・中学校、幼稚園・保育所・認定こども園対象の教育助成  
入選校・園には教育助成金とソニー製品を贈呈

ソニー教育財団(会長:盛田昌夫)は、全国の小学校・中学校、幼稚園・保育所・認定こども園から「教育・保育の実践と今後の計画」をまとめた論文を募集し、次世代を担う子どもたちのために、より良い教育・保育の実践に取り組む学校・園に教育助成金と教育教材(ソニー製品)を贈呈します。

ソニー創業者の井深大は、日本の発展のためには子どもたちの理科教育が重要と考え、1959年に「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈をはじめました。この活動を受け継ぐ以下の2つの「教育助成プログラム」には、これまで全国から12,000を超える学校・園からご応募をいただいています。ソニーは50年以上も継続して、全国の教育・保育の現場を支援しています。

今年度は、8月1日より小・中学校を対象とした教育実践論文の募集を開始しました。また、15日より幼稚園・保育所・認定こども園を対象とした教育・保育実践論文の募集を開始いたします。子どもたちの「なぜ?」「どうして?」を大切に、「豊かな感性」と「創造性」の芽生えを育むことに情熱を持って取り組む学校・園のみなさまからの多数のご応募をお待ちしております。



ソニー創業者 井深大

### 「教育・保育実践論文」募集概要

#### ■ソニー子ども科学教育プログラム — 対象:小学校・中学校

主題: 「科学が好きな子どもを育てる」～「なぜ」を大切に、感性・創造性・主体性の育成～  
審査委員長: 御手洗康 元文部科学事務次官  
募集期間: 2016年8月1日(月)～9月2日(金)  
助成内容: 最優秀校300万円、優秀校50万円、奨励校10万円の教育助成金とソニー製品  
入選発表: 2016年12月中旬に当財団のホームページで発表  
応募方法: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/science.html>

#### ■ソニー幼児教育支援プログラム — 対象:幼稚園・保育所・認定こども園

主題: 科学する心を育てる ～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～  
審査委員長: 小泉英明 (株)日立製作所 役員待遇フェロー  
募集期間: 2016年8月15日(月)～9月13日(火)  
助成内容: 最優秀園100万円、優秀園20万円、奨励園5万円の教育助成金とソニー製品  
入選発表: 2016年12月中旬に当財団のホームページで発表  
応募方法: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/preschool.html>

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川4-2-1  
TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式HP: <http://www.sony-ef.or.jp/> 公式FB: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>

<参考資料>昨年度の実績

### ■2015年度 受賞校・受賞園

ソニー子ども科学教育プログラム 応募総数：208校  
<最優秀校 2校 教育助成金 各300万円>

福島市立三河台小学校／福島県

テーマ：自分らしく科学し続ける子どもを育てる



刈谷市立雁が音中学校／愛知県

テーマ：科学が好きな生徒を育てる

体験から感動へ 2015雁中サイエンスアクションⅡ



ソニー幼児教育支援プログラム 応募総数：111園  
<最優秀園 2園 教育助成金 各100万円>

幸田町立大草保育園／愛知県

テーマ：「綿の種」出会いから始まる科学する心



すくすく保育園／大阪府

テーマ：科学する心を育てる

-“浮く”と“あがる”の違いって？-



### ■2015年度 入選論文

ホームページでご覧いただけます。

<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/2015.html>

### ■2015年度 贈呈式の様子

2016年1月30日(土)にソニー本社にて贈呈式を開催しました。

最優秀および優秀校・園の校長先生・園長先生、論文の研究代表の先生および保護者の代表をお迎えし、会長の盛田昌夫より表彰状と目録が手渡されました。当日は、ご来賓として出席いただいた文部科学省初等中等教育局長 小松親次郎様(写真右)より、ご祝辞をいただきました。



## ■ソニー創業者 井深大と教育助成について

ソニーの創業者である井深大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心を育てる」こと、「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む「“科学する心“を見つけよう フォトコンテスト」など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。

## ■ソニー教育財団のあゆみ

- 1959 「ソニー小学校理科教育振興資金」開始
- 1963 「ソニー理科教育振興資金受賞校連盟」結成
- 1969 「財団法人 幼児開発協会」設立
- 1972 「財団法人 ソニー教育振興財団」設立(井深大理事長)
- 2001 「ソニー小学校理科教育振興資金」を改称し「ソニー子ども科学教育プログラム」開始  
「ソニー教育振興財団」と「幼児開発協会」を統合し、「財団法人 ソニー教育財団」となる
- 2002 「ソニー理科教育振興資金受賞校連盟」を改組し、「ソニー科学教育研究会(SSTA)」発足  
「ソニー幼児教育支援プログラム」開始
- 2011 「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行

以上